

当会会員の(株)ダイナックス(千歳市)が  
平成 29 年 2 月 8 日付の日刊工業新聞に紹介されました。

## クラッチ板部材 一貫生産体制

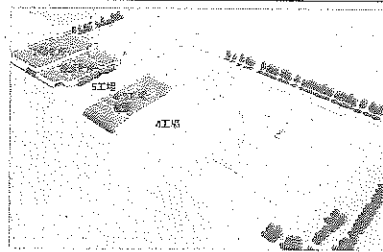
# 苫小牧工場を増設

ダイナックス

【札幌】ダイナックス(北海道千歳市、秋田幸治社長、0123・24・3247)は、苫小牧工場(北海道苫小牧市)で自動車向けクラッチ板の部材を作る工場の拡張などに乗り出す。4月に着工し、2018年3月の完成を予定。投資額は設備の

導入も含めて約70億円とする「物流センター」と、鋼材を加工する「コイルセンター」を新たに設ける。総建築面積は約1万6800平方メートル。拡張などに伴い、100人程度の新規雇用も計画する。工場拡張では抄紙機を増設し、クラッチ板に使う摩擦材のもとと

なる紙など素材の生産を強化する。物流センターやコイルセンターの新設で効率的な物流やサプライチェーンの向上も図る。



苫小牧工場で工場拡張などのイメージ(ダイナックス提供)

今回の投資は、効率的な生産体制や自然災害での供給リスクへの対策などが目的であり、クラッチ板の生産能力に変化はないとしている。ただ、拡張部分については、約3割の面積を予備スペースとして確保しており、将来の増産も視野に入